

The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

2016年8月号 通巻92号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2016

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

東京コウモリ探検隊！ VS ポケモンGO

架空よりもリアルを探す方が面白い(きっと)



Googleマップではアブラコウモリ観察に適した場所の360度写真を公開しています。写真は不忍池(台東区、2016年5月撮影)。左に見えているのは弁天堂です。他の写真やコウモリ観察場所の紹介は下記をご覧ください。

<https://www.google.com/maps/contrib/106403414007442166499/>

※東京コウモリ探検隊！ホームページ
<http://tokyobat.jp/>

この新聞はタヌキがメインなのですがたまにはコウモリの話もさせていただきます。

ポケモン集団に遭遇する

2016年7月22日、日本でスマートフォン用ゲーム「ポケモンGO」が公開されました。そしてあつという間にさまざまな社会現象・社会問題を引き起こしたことは既にみなさんご存じの通りです。

さて、私(宮本隊長)は東京タヌキ探検隊！の他に東京コウモリ探検隊！も運営しています。こちらの対象はアブラコウモリのみ、東京都23区のみです。最大の目的は「アブラコウモリは23区全域に生息している」という仮説を立証することです。アブラコウモリはタヌキなどと違って出現する日時や場所が高い精度で予測できます。そのため私自身があちこちを歩きまわってコウモリを探索しています。多くの方々が参加していただければ結論も早く出せるのですが、残念ながらコウモリは不人気の

ようではほぼ私一人だけが頑張っているような状況です。

現場でコウモリを探索する時にはスマートフォンは必須です。地図アプリでルートや周囲の状況を確認したり、メモアプリで観察時刻場所等を記録していきます。そう、その姿はまるでポケモンGOをプレイしているかのようです…。コウモリの場合は小型の装置(バットディテクター)を持っていたり、周囲をきょろきょろ見回したり(コウモリの姿を探している)、明らかにポケモンとは異なる動作があるのですが、ほとんど気付かれないようです。実際、コウモリ探索中に50人ほどが集まっているポケストップ(アイテムを得られる場所)に遭遇したのですが、みんなうつむいてスマホ画面を見ているばかりです。その上空にはアブラコウモリが飛んでいましたが当然誰も気付きません(暗いので目視確認は困難なのですが)。

コウモリ探索にもご参加を

ポケモンは架空の存在を捕獲収集するゲームですが、東京コウモリ探検隊！は現実に生息するコウモリを調査する真面目なサイエンス・プロジェクトです。大都市のコウモリの実態を明らかにすることは(ポケモンよりも)とても重要なことですし、誰でも参加できプロジェクトの一部を担うことができるというのはとても面白いと思うのですがいかがでしょうか。徘徊しているポケモンプレイヤーの0.1%でもこちらに参加してくれば調査研究は大進展するのですが…(ただし、そうなるとメールのやりとりやデータベースへの記録作業などが私の処理能力を大幅にオーバーしてしまうのは明らかで、それはそれで困ってしまいます)。

スポンサー枠

スポンサー募集中です！

全国のタヌキ、ハクビシンなどの情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>